

衛研第3 - 11号
平成28年 6月15日

感染症発生動向調査事業
各関係機関の長様

埼玉県衛生研究所長

感染症発生動向調査事業週単位情報の送付について（通知）

このことについて、別添のとおり送付いたします。

担当 埼玉県衛生研究所 感染症疫学情報担当
電話 0493 - 59 - 9325
FAX 0493 - 59 - 9613
e-mail p5349952@pref.saitama.lg.jp

感染症患者発生情報（週報）

埼玉県内情報 平成 28 年 第 23 週（平成 28 年 6 月 6 日～平成 28 年 6 月 12 日）

今週の注目される疾患

全数把握対象疾患では、一類及び二類感染症（結核を除く）の届出はなかった。三類感染症は、細菌性赤痢 2 人の届出があった。四類感染症は、レジオネラ症 3 人の届出があった。五類感染症は、アメーバ赤痢 1 人、カルバペネム耐性腸内細菌科細菌感染症 1 人、急性脳炎 1 人、後天性免疫不全症候群 2 人、侵襲性肺炎球菌感染症 1 人、水痘（入院例）1 人、梅毒 6 人、風しん 3 人の届出があった。

定点報告対象疾患では、**A 群溶血性レンサ球菌咽頭炎**（3.86 4.61：図 1）の定点当たり報告数は、前週より大きく増加し、2012 年以降の最大値であった 2015 年第 24 週に次いで大きい値となった。保健所別では全保健所管内から報告があり、坂戸（1.50 3.83）、川口（4.63 6.81）保健所管内で大きく増加し、鴻巣（8.17）、熊谷（6.78）保健所管内からの報告が多い。年齢階級別では、3～8 歳で全体の 75.2% を占め、特に 5 歳の報告が多い。**咽頭結膜熱**（0.89 0.86：図 2）の定点当たり報告数は前週と同水準に留まり、今しばらく動向に注意が必要である。保健所別では秩父及び本庄保健所を除く 14 保健所管内から報告があり、坂戸（0.67 1.33）保健所管内で大きく増加し、狭山（1.94）、幸手（1.44）保健所管内からの報告が多い。年齢階級別では、1 歳の報告が最も多い。**流行性耳下腺炎**（1.55 1.36：図 3）の定点当たり報告数は前週と同水準であったが、依然、前年までの同時期と比べ多い状況が続いている。保健所別では秩父保健所を除く 15 保健所管内から報告があり、幸手（4.33 3.56）保健所管内で多い状況が続いている。年齢階級別では、3～7 歳で全体の 65.8% を占めている。**手足口病**（0.11 0.25）の定点当たり報告数は前週より増加し、保健所別では、草加（0.64）、熊谷（0.56）保健所管内からの報告が多い。**ヘルパンギーナ**（0.19 0.27）の定点当たり報告数は、前週より微増した。保健所別では、草加（0.40 1.27）保健所管内で大きく増加し、春日部（1.50）保健所管内からの報告が多い。眼科定点報告対象疾患では、**急性出血性結膜炎** 1 人、**流行性角結膜炎** 25 人の報告があった。基幹定点報告対象疾患では、**無菌性髄膜炎** 2 人、**マイコプラズマ肺炎** 8 人、**感染性胃腸炎（ロタウイルス）** 3 人の報告があった。

<全数把握対象疾患の患者情報>

一類感染症	報告なし	
二類感染症	報告なし（結核を除く）	
三類感染症	細菌性赤痢	2 人（病原体 <i>S. sonnei</i> 2 人）
四類感染症	レジオネラ症	3 人（病型 肺炎型 3 人）
五類感染症	アメーバ赤痢	1 人（病型 腸管アメーバ症）
	カルバペネム耐性腸内細菌科細菌感染症	1 人（菌種 <i>Enterobacter</i> sp.）
	急性脳炎	1 人（病原体 不明）
	後天性免疫不全症候群	2 人（病型 AIDS 1 人、無症状病原体保有者 1 人）
	侵襲性肺炎球菌感染症	1 人
	水痘（入院例）	1 人（病型 臨床診断例）
	梅毒	6 人（病型 早期顕症 期 3 人、早期顕症 期 1 人 無症状病原体保有者 2 人）
	風しん	3 人（病型 検査診断例 3 人）

1 この情報に関する御質問・御意見等がございましたら、下記まで御連絡ください。

衛生研究所 感染症情報担当者会議（感染症疫学情報担当） TEL: 0493-59-9325 FAX: 0493-59-9613

e-mail: p5349952@pref.saitama.lg.jp URL: <http://www.pref.saitama.lg.jp/b0714/surveillance/index.html>

2 全国の感染症発生動向に関する情報は、国立感染症研究所の感染症疫学センターホームページ（URL: <http://www.nih.go.jp/niid/ja/from-idsc.html>）で御覧になれます。

< 今週の注目される定点把握対象疾患の推移 >

図1 A群溶血性レンサ球菌咽頭炎

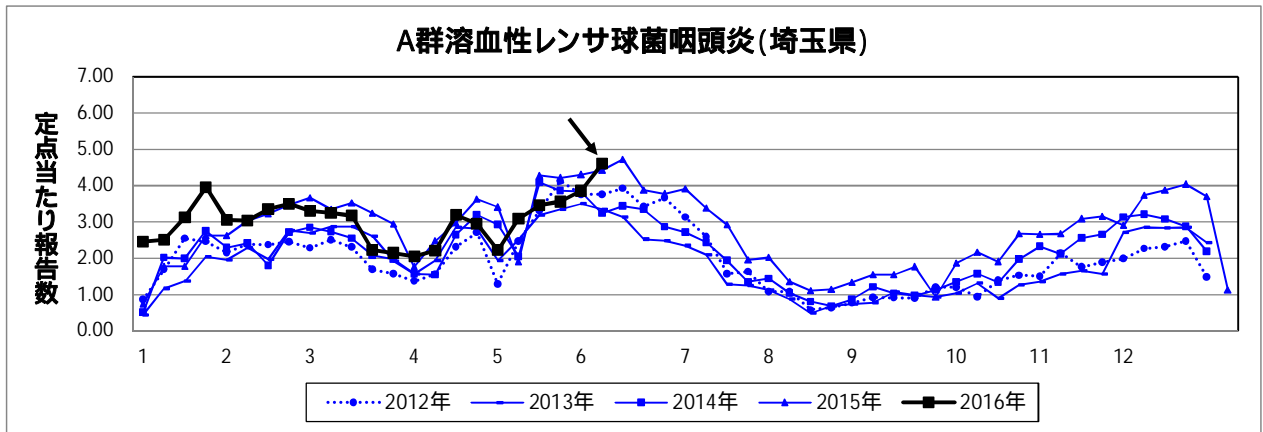


図2 咽頭結膜熱

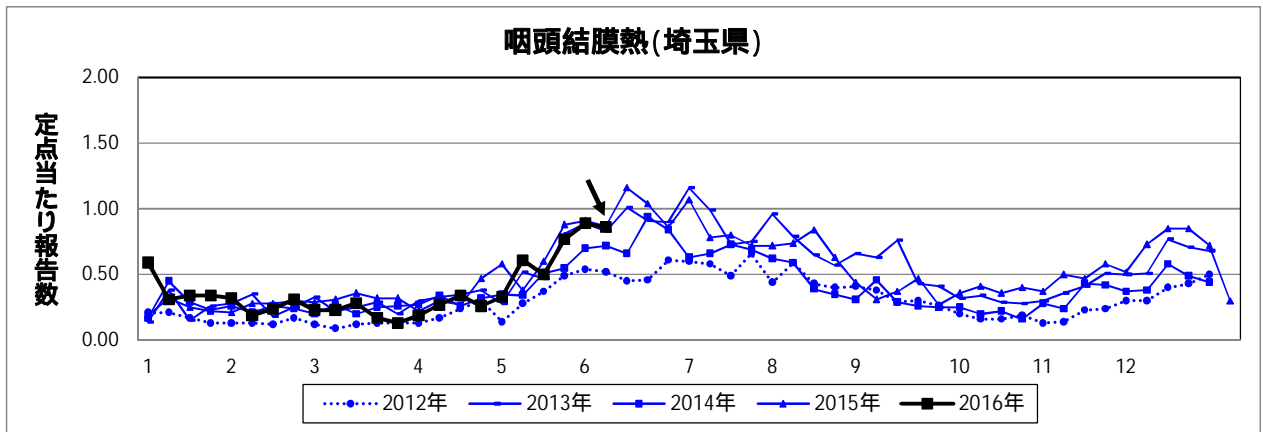
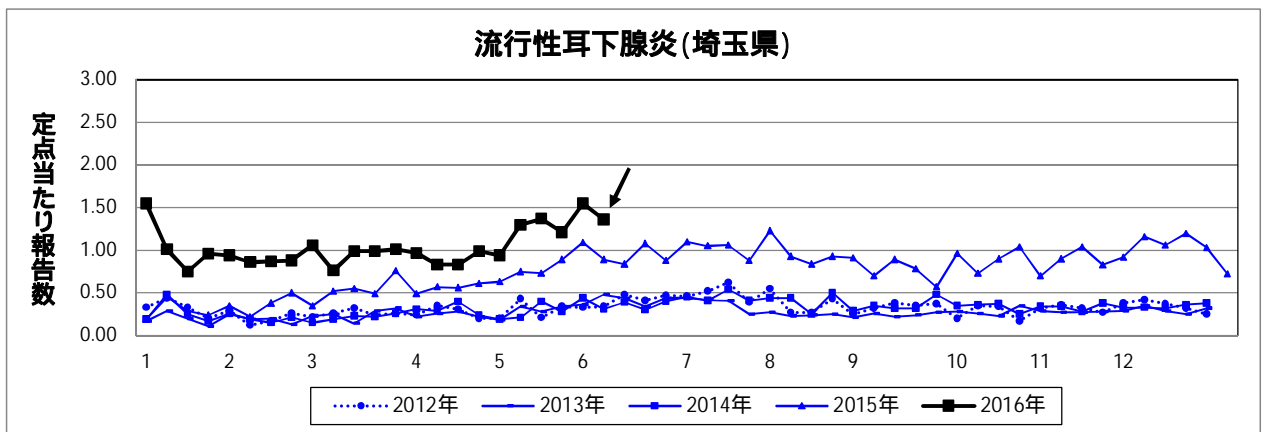


図3 流行性耳下腺炎



感染症発生状況(全数把握対象疾患)
(第23週)

(2016年6月14日 15:00集計)

	今週 届出	累 計		今週 届出	累 計
一類感染症					
エボラ出血熱			ペスト		
クリミア・コンゴ出血熱			マールブルグ病		
痘そう			ラッサ熱		
南米出血熱					
二類感染症					
急性灰白髄炎			中東呼吸器症候群(MERS)		
結核*	-	-	鳥インフルエンザ(H5N1)		
ジフテリア			鳥インフルエンザ(H7N9)		
重症急性呼吸器症候群(SARS)					
三類感染症					
コレラ			腸チフス		1
細菌性赤痢	2	5	パラチフス		
腸管出血性大腸菌感染症		14			
四類感染症					
E型肝炎		9	東部ウマ脳炎		
ウエストナイル熱			鳥インフルエンザ(H5N1を除く)		
A型肝炎		3	ニパウイルス感染症		
エキノコックス症			日本紅斑熱		
黄熱			日本脳炎		
オウム病			ハンタウイルス肺症候群		
オムスク出血熱			Bウイルス病		
回帰熱			鼻疽		
キャサナル森林病			ブルセラ症		
Q熱			ベネズエラウマ脳炎		
狂犬病			ヘンドラウイルス感染症		
コクシジオイデス症			発しんチフス		
サル痘			ポツリヌス症		
ジカウイルス感染症			マラリア		
重症熱性血小板減少症候群			野兔病		
腎症候性出血熱			ライム病		
西部ウマ脳炎			リッサウイルス感染症		
ダニ媒介脳炎			リフトバレー熱		
炭疽			類鼻疽		
チクングニア熱			レジオネラ症	3	27
つつが虫病			レプトスピラ症		
デング熱		6	ロッキー山紅斑熱		
五類感染症					
アメーバ赤痢	1	27	侵襲性肺炎球菌感染症	1	59
ウイルス性肝炎(E型・A型を除く)		5	水痘*	1	5
カルバペネム耐性腸内細菌科細菌感染症	1	17	先天性風しん症候群		
急性脳炎	1	23	梅毒	6	55
クリプトスポリジウム症			播種性クリプトコックス症		3
クロイツフェルト・ヤコブ病		4	破傷風		2
劇症型溶血性レンサ球菌感染症		9	バンコマイシン耐性黄色ブドウ球菌感染症		
後天性免疫不全症候群	2	18	バンコマイシン耐性腸球菌感染症		3
ジアルジア症			風しん	3	4
侵襲性インフルエンザ菌感染症		4	麻しん		1
侵襲性髄膜炎菌感染症		1	薬剤耐性アシネトバクター感染症		2
指定感染症	該当疾患は無し				

水痘*：患者が入院を要すると認められるものに限る。

ウイルス性肝炎(A型・E型を除く)再掲	B型	C型	D型	その他
累計	4	1		

累計は診断日で集計

* 結核は月単位で集計、別に掲載します。

結核届出状況(5月分)

5月の届出数は、患者68人、無症状病原体保有者31人の計99人であった。患者は前月の83人、前年同月の76人より減少した。

表1 診断月別の届出数の推移(2015年5月～2016年5月)

	2015年*								2016年					累計**
	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	
総計	99	134	116	124	99	111	80	116	128	115	103	100	99	545
年齢階級														
10歳未満	1	2	6	0	1	3	1	7	2	2	1	1	3	9
10歳代	3	4	1	10	0	1	0	1	1	5	0	1	2	9
20歳代	11	15	9	6	10	13	4	8	4	12	8	16	17	57
30歳代	5	14	11	9	9	11	5	16	7	8	9	7	6	37
40歳代	9	19	11	15	11	8	11	6	13	22	15	7	9	66
50歳代	6	8	10	23	11	9	13	13	14	8	5	10	10	47
60歳代	21	13	17	13	21	16	13	16	25	16	15	10	15	81
70歳代	20	26	26	17	23	18	15	27	32	16	25	25	16	114
80歳以上	23	33	25	31	13	32	18	22	30	26	25	23	21	125
性														
男	60	84	68	68	64	73	43	61	71	71	65	59	53	319
女	39	50	48	56	35	38	37	55	57	44	38	41	46	226
類型														
患者	76	98	81	85	57	85	63	83	69	77	73	83	68	370
感染症死亡者の死体	0	0	0	0	1	0	0	0	1	0	0	0	0	1
疑似症患者	3	2	1	0	2	0	0	0	2	0	0	2	0	4
無症状病原体保有者	20	34	34	39	39	26	17	33	56	38	30	15	31	170
病型														
肺結核	55	74	65	66	44	63	48	55	42	58	51	62	50	263
肺結核及びその他の結核	5	3	2	3	3	7	4	5	6	7	7	5	4	29
その他の結核	16	21	14	16	11	15	11	23	22	12	15	16	14	79
疑似症患者	3	2	1	0	2	0	0	0	2	0	0	2	0	4
無症状病原体保有者	20	34	34	39	39	26	17	33	56	38	30	15	31	170

*:2015年の届出数は暫定値

** :2016年1月からの累積届出数

5月に診断された99人を病型別にみると、肺結核では全年齢階級から届出があり、80歳代以上の14人が最も多く、無症状病原体保有者では10歳代を除く年齢階級から届出があった。

表2 年齢階級別病型別の届出数(2016年5月分)

	病 型					総計
	肺結核	肺結核及びその他の結核	その他の結核	疑似症患者	無症状病原体保有者	
総計	50	4	14	0	31	99
年齢階級						
10歳未満	1	0	0	0	2	3
10歳代	2	0	0	0	0	2
20歳代	9	0	1	0	7	17
30歳代	2	0	0	0	4	6
40歳代	5	0	2	0	2	9
50歳代	4	1	0	0	5	10
60歳代	5	2	4	0	4	15
70歳代	8	1	4	0	3	16
80歳以上	14	0	3	0	4	21

保健所	感染症発生動向調査 週情報 報告患者数 保健所別 (第23週 平成28年6月6日～平成28年6月12日)																				
	インフルエンザ #1	RSウイルス感染症	咽頭結膜熱	咽頭炎	咽A群溶血性レンサ球菌	感染性胃腸炎	水痘	手足口病	伝染性紅斑	突発性発しん	百日咳	ヘルパンギーナ	流行性耳下腺炎	急性出血性結膜炎	流行性角結膜炎	細菌性髄膜炎 #2	無菌性髄膜炎	マイコプラズマ肺炎 #3	クラミジア肺炎	感染性胃腸炎(入院)	インフルエンザ
全	14	8	138	742	1,183	90	41	35	120	5	43	219	1	25	-	2	8	-	-	3	-
川	0.06	0.05	0.86	4.61	7.35	0.56	0.25	0.22	0.75	0.03	0.27	1.36	0.02	0.61	-	0.20	0.80	-	-	0.30	-
口	-	4	15	109	168	20	4	3	16	1	2	17	-	2	*	*	*	*	*	*	*
朝	6	1	14	60	149	6	4	1	18	-	3	14	-	3	-	-	-	-	-	-	2
朝	0.27	0.07	1.00	4.29	10.64	0.43	0.29	0.07	1.29	-	0.21	1.00	-	0.75	-	-	-	-	-	2.00	-
鴻	-	-	8	98	61	5	1	5	3	-	-	15	1	1	*	*	*	*	*	*	*
鴻	-	-	0.67	8.17	5.08	0.42	0.08	0.42	0.25	-	-	1.25	0.33	0.33	*	*	*	*	*	*	*
東	-	-	2	12	41	-	1	2	8	-	-	3	-	-	-	-	-	-	-	-	1
東	-	-	0.40	2.40	8.20	-	0.20	0.40	1.60	-	-	0.60	-	-	-	-	-	-	-	-	1.00
山	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	*	*	*	*	*	*	*	-
秩	-	-	-	7	2	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
秩	-	-	-	2.33	0.67	-	-	-	0.33	-	-	-	-	*	*	*	*	*	*	*	-
本	-	-	-	-	11	5	1	2	1	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-
本	-	-	-	2.75	1.25	0.25	0.50	0.25	-	-	-	0.25	-	-	-	-	-	-	-	-	-
熊	-	-	5	61	112	3	5	1	5	1	-	10	-	-	-	-	-	-	-	-	-
熊	-	-	0.56	6.78	12.44	0.33	0.56	0.11	0.56	0.11	-	1.11	-	-	-	-	-	-	-	-	-
加	-	-	1	7	1	7	-	2	4	-	-	8	-	-	-	-	-	-	-	-	*
加	-	-	0.17	1.17	1.17	1.17	-	0.33	0.67	-	-	1.33	-	-	-	-	-	-	-	-	*
春	1	-	8	21	18	5	3	1	4	-	-	9	8	-	-	-	-	-	-	-	*
春	0.10	-	1.33	3.50	3.00	0.83	0.50	0.17	0.67	-	-	1.50	1.33	-	-	-	-	-	-	-	*
幸	-	-	13	41	16	1	1	-	7	1	-	32	-	-	-	-	-	-	-	-	3
幸	-	-	1.44	4.56	1.78	0.11	0.11	-	0.78	0.11	-	3.56	-	-	-	-	-	-	-	-	3.00
坂	1	-	8	23	41	4	3	2	2	1	-	11	-	-	-	-	-	-	-	-	-
坂	0.10	-	1.33	3.83	6.83	0.67	0.50	0.33	0.33	0.17	-	1.83	-	-	-	-	-	-	-	-	-
草	2	2	5	49	51	3	7	2	5	1	14	14	-	1	*	*	*	*	*	*	*
草	0.12	0.18	0.45	4.45	4.64	0.27	0.64	0.18	0.45	0.09	1.27	1.27	-	0.33	*	*	*	*	*	*	*
狭	4	-	33	91	120	11	2	5	4	-	6	34	-	-	-	-	-	-	-	-	1
狭	0.15	-	1.94	5.35	7.06	0.65	0.12	0.29	0.24	-	0.35	2.00	-	-	-	-	-	-	-	-	1.00
川	-	-	2	38	66	2	2	4	5	-	1	1	-	1	*	*	*	*	*	*	*
川	-	-	0.25	4.75	8.25	0.25	0.25	0.50	0.63	-	0.13	0.13	-	0.50	*	*	*	*	*	*	*
越	-	-	10	32	29	1	1	2	9	-	4	9	-	-	-	-	-	-	-	-	-
越	-	-	1.25	4.00	3.63	0.13	0.13	0.25	1.13	-	0.50	1.13	-	-	-	-	-	-	-	-	-
さい	-	1	14	82	303	21	5	4	29	-	4	42	-	17	-	-	-	-	-	-	3
さい	-	0.04	0.52	3.04	11.22	0.78	0.19	0.15	1.07	-	0.15	1.56	-	2.13	-	-	-	-	-	-	3.00

(- : 0.00) #1 鳥インフルエンザを除く #2 真菌性を含む #3 オウム病を除く 6月 14日 13:00集計

感染症発生動向調査 週情報 報告患者数 年齢別 (第23週 平成28年6月6日～平成28年6月12日)

	年齢別																				
	合計	-6ヵ月	12ヵ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10-14歳	15-19歳	20-29歳	30-39歳	40-49歳	50-59歳	60-69歳	70-79歳	80歳以上
インフルエンザ #1	14	-	-	1	-	-	-	-	2	1	1	3	1	1	-	-	2	2	-	-	-
RSウイルス感染症	8	2	3	1	1	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
咽頭結膜熱	138	-	9	37	18	22	19	13	7	3	4	-	5	-	-	-	-	-	-	-	-
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	742	1	3	11	35	71	92	122	102	93	78	45	69	4	16	-	-	-	-	-	-
感染性胃腸炎	1,183	12	89	155	112	131	125	141	82	51	49	37	106	13	80	-	-	-	-	-	-
水痘	90	-	2	5	4	12	12	14	13	12	8	5	3	-	-	-	-	-	-	-	-
手足口病	41	-	3	14	5	7	4	2	1	1	1	-	2	-	1	-	-	-	-	-	-
伝染性紅斑	35	-	-	1	3	6	4	5	2	4	6	3	1	-	-	-	-	-	-	-	-
突発性発しん	120	3	44	64	7	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
百日咳	5	1	-	1	-	1	-	-	-	-	-	-	1	-	1	-	-	-	-	-	-
ヘルパンギーナ	43	-	6	15	7	6	3	2	2	1	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-
流行性耳下腺炎	219	-	1	11	10	21	24	45	30	24	11	10	31	-	1	-	-	-	-	-	-
急性出血性結膜炎	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-
流行性角結膜炎	25	-	-	-	2	1	-	-	1	-	1	-	1	-	3	6	2	-	4	4	4
細菌性髄膜炎 #2	合計	0歳	1-4歳	5-9歳	10-14歳	15-19歳	20-24歳	25-29歳	30-34歳	35-39歳	40-44歳	45-49歳	50-54歳	55-59歳	60-64歳	65-69歳	70歳以上				
無菌性髄膜炎	2	1	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
マイコプラズマ肺炎	8	-	-	4	1	2	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
クラミジア肺炎 #3	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
感染性胃腸炎(ロタウイルス)	3	-	3	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
(入院)インフルエンザ	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

表中の数値は各定点からの報告数 (- : 0)

#1 鳥インフルエンザを除く

#2 真菌性を含む

#3 オウム病を除く

全国・関東情報 第 21 週

(5月23日～5月29日)

平成28年6月15日

インフルエンザの定点当たり報告数は第7週以降減少が続いている。都道府県別の上位3位は沖縄県(2.76)、秋田県(1.35)、福島県(1.19)である。基幹定点からのインフルエンザ入院サーベイランスにおける報告数は21例と前週と比較して減少し、14都道府県から報告があった。

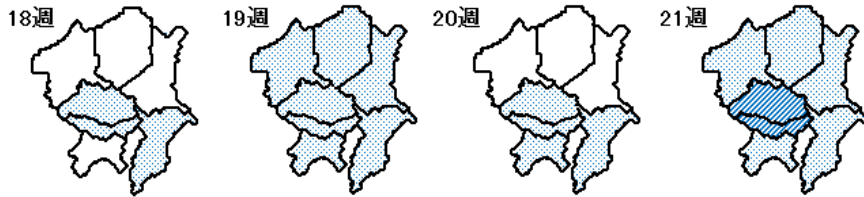
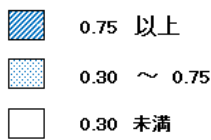
RSウイルス感染症の報告数は342例と増加した。年齢別では1歳以下の報告数が全体の約83%を占めている。咽頭結膜熱の定点当たり報告数は第13週以降増加が続いており、過去5年間の同時期(前週、当該週、後週)と比較してやや多い。都道府県別の上位3位は島根県(2.57)、佐賀県(1.87)、石川県(1.83)である。A群溶血性レンサ球菌咽頭炎の定点当たり報告数は3週連続で増加した。都道府県別の上位3位は大分県(5.17)、北海道(4.94)、鳥取県(4.58)である。感染性胃腸炎の定点当たり報告数は3週連続で増加した。都道府県別の上位3位は大分県(13.86)、新潟県(10.84)、宮崎県(8.67)である。水痘の定点当たり報告数は増加した。都道府県別の上位3位は大分県(1.08)、新潟県(0.81)、北海道(0.76)、長野県(0.76)である。手足口病の定点当たり報告数は第14週以降増加が続いている。都道府県別の上位3位は沖縄県(3.06)、香川県(1.43)、宮崎県(0.83)である。伝染性紅斑の定点当たり報告数は3週連続で増加した。都道府県別の上位3位は山形県(1.30)、栃木県(1.21)、島根県(1.13)である。流行性耳下腺炎の定点当たり報告数は減少したが、過去5年間の同時期と比較してやや多い。都道府県別の上位3位は宮崎県(3.61)、富山県(1.90)、山形県(1.80)である。

マイコプラズマ肺炎の定点当たり報告数は3週連続で増加した。都道府県別の上位3位は北海道(3.09)、岐阜県(1.80)、高知県(1.75)である。感染性胃腸炎(ロタウイルスに限る)の定点当たり報告数は第16週以降減少が続いている。36都道府県から143例報告があり、年齢別では0歳(16例)、1～4歳(95例)、5～9歳(28例)、10代(2例)、30代(1例)、70歳以上(1例)であった。

<関東情報>

咽頭結膜熱の定点当たり報告数は、東京都(0.82)、埼玉県(0.77)からの報告が多い。

咽頭結膜熱



平成28年 21週

		全国	関東地域	茨城県	栃木県	群馬県	埼玉県	千葉県	東京都	神奈川県
インフルエンザ #1	報告数	1,424	192	13	4	10	28	33	72	32
	定点当たり	0.29	0.13	0.11	0.05	0.11	0.11	0.15	0.18	0.09
RSウイルス感染症	報告数	342	50	2	-	-	7	5	25	11
	定点当たり	0.11	0.05	0.03	-	-	0.04	0.04	0.10	0.05
咽頭結膜熱	報告数	2,316	660	41	19	28	123	96	212	141
	定点当たり	0.73	0.70	0.55	0.40	0.48	0.77	0.72	0.82	0.66
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	報告数	9,371	2,949	151	104	187	566	540	843	558
	定点当たり	2.97	3.12	2.01	2.17	3.22	3.56	4.03	3.28	2.60
感染性胃腸炎	報告数	19,867	5,792	358	106	341	1,102	742	1,814	1,329
	定点当たり	6.29	6.12	4.77	2.21	5.88	6.93	5.54	7.06	6.18
水痘	報告数	1,770	549	31	22	35	116	83	143	119
	定点当たり	0.56	0.58	0.41	0.46	0.60	0.73	0.62	0.56	0.55
手足口病	報告数	568	97	8	2	-	15	9	37	26
	定点当たり	0.18	0.10	0.11	0.04	-	0.09	0.07	0.14	0.12
伝染性紅斑	報告数	1,341	329	27	58	53	29	49	76	37
	定点当たり	0.42	0.35	0.36	1.21	0.91	0.18	0.37	0.30	0.17
突発性発しん	報告数	2,039	708	32	35	38	139	82	215	167
	定点当たり	0.65	0.75	0.43	0.73	0.66	0.87	0.61	0.84	0.78
百日咳	報告数	70	13	1	1	4	1	1	3	2
	定点当たり	0.02	0.01	0.01	0.02	0.07	0.01	0.01	0.01	0.01
ヘルパンギーナ	報告数	775	82	6	1	2	14	7	31	21
	定点当たり	0.25	0.09	0.08	0.02	0.03	0.09	0.05	0.12	0.10
流行性耳下腺炎	報告数	2,676	720	46	26	23	193	131	121	180
	定点当たり	0.85	0.76	0.61	0.54	0.40	1.21	0.98	0.47	0.84
急性出血性結膜炎	報告数	11	5	-	-	-	2	-	1	2
	定点当たり	0.02	0.02	-	-	-	0.05	-	0.03	0.04
流行性角結膜炎	報告数	446	203	16	8	8	35	36	32	68
	定点当たり	0.65	0.99	0.94	0.67	0.57	0.85	1.03	0.84	1.42
細菌性髄膜炎 #2	報告数	8	1	-	-	-	-	1	-	-
	定点当たり	0.02	0.01	-	-	-	-	0.11	-	-
無菌性髄膜炎	報告数	27	5	-	-	-	1	2	1	1
	定点当たり	0.06	0.06	-	-	-	0.10	0.22	0.04	0.11
マイコプラズマ肺炎	報告数	265	27	6	1	3	6	5	5	1
	定点当たり	0.56	0.33	0.46	0.14	0.38	0.60	0.56	0.20	0.11
クラミジア肺炎 #3	報告数	6	1	-	-	-	-	-	1	-
	定点当たり	0.01	0.01	-	-	-	-	-	0.04	-
感染性胃腸炎(ロタウイルス)	報告数	143	13	1	1	4	2	-	2	3
	定点当たり	0.30	0.16	0.08	0.14	0.50	0.20	-	0.08	0.33

#1 鳥インフルエンザを除く

#2 真菌性を含む

#3 オウム病を除く

(-0.00)

総合トップ > 健康・福祉 > 感染症 > 感染症情報センター > 感染症の流行情報 > 感染症発生動向調査 > 感染症発生動向調査 2016年 > 感染症の流行状況 2016年 第23週

感染症発生動向調査 2016年

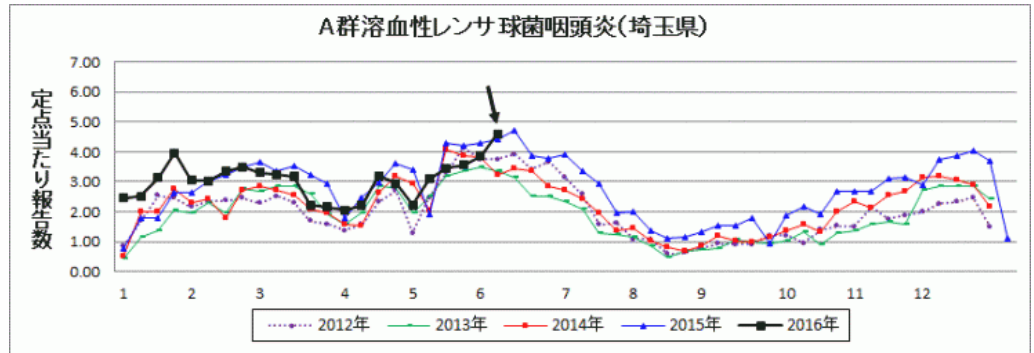
- [感染症の流行状況 2016年 第1週](#)
- [感染症の流行状況 2016年 第2週](#)
- [感染症の流行状況 2016年 第3週](#)
- [感染症の流行状況 2016年 第4週](#)
- [感染症の流行状況 2016年 第5週](#)
- [感染症の流行状況 2016年 第6週](#)
- [感染症の流行状況 2016年 第7週](#)
- [感染症の流行状況 2016年 第8週](#)
- [感染症の流行状況 2016年 第9週](#)
- [感染症の流行状況 2016年 第10週](#)
- [感染症の流行状況 2016年 第11週](#)
- [感染症の流行状況 2016年 第12週](#)
- [感染症の流行状況 2016年 第13週](#)
- [感染症の流行状況 2016年 第14週](#)
- [感染症の流行状況 2016年 第15週](#)
- [感染症の流行状況 2016年 第16週](#)
- [感染症の流行状況 2016年 第17週](#)
- [感染症の流行状況 2016年 第18週](#)
- [感染症の流行状況 2016年 第19週](#)
- [感染症の流行状況 2016年 第20週](#)
- [感染症の流行状況 2016年 第21週](#)
- [感染症の流行状況 2016年 第22週](#)

感染症の流行状況 2016年 第23週

2016年第23週（平成28年6月6日～6月12日）の要点 平成28年6月15日

A群溶血性レンサ球菌咽頭炎の定点当たり報告数は、前週より大きく増加しました。外出後の手洗い・うがいとともに、十分な休養をとるよう心がけてください。また、お子さんの体調がすぐれない時は、医療機関に電話で相談の上、早目に受診してください。

- [インフルエンザに関する情報はこちらをご覧ください。](#)
- [麻疹に関する情報はこちらをご覧ください。](#)
- [風しんに関する情報はこちらをご覧ください。](#)



感染症流行状況

疾患	推移	流行状況	疾患	推移	流行状況
インフルエンザ	→	★	伝染性紅斑	→	★
RSウイルス感染症	→	★	突発性発しん	↓	★
咽頭結膜熱	→	★★★	百日咳	↑	★
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	↑	★★★	ヘルパンギーナ	→	★
感染性胃腸炎	→	★★	流行性耳下腺炎（おたふくかぜ）	→	★★
水痘（みずぼうそう）	↓	★	急性出血性結膜炎	→	★
手足口病	↑	★	流行性角結膜炎	→	★★

*1.推移、流行状況は、県内全域の傾向です。*2.推移は2週間前からの傾向を示します。(→:増減無し、↑:増加、↓:減少) *3.流行状況は今週の流行を示します。(小さい←★、★★、★★★→大きい)

疾患名をクリックすると、各疾患の流行状況のグラフがご覧いただけます。

全国の感染症発生動向状況については、国立感染症研究所のホームページ「[感染症疫学センター](#)」(アドレス <http://www.nih.go.jp/niid/ja/from-idsc.html>)でご覧になれます。

この情報は毎週水曜日に更新する予定です。ただし、祝日等により変更の場合もあります。



埼玉県のマスコット コパン

お問い合わせ

保健医療部 衛生研究所 感染症疫学情報担当

郵便番号355-0133 埼玉県比企郡吉見町江和井410番地1

▶ お問い合わせフォーム